



第2期 行政改革大綱 点検報告書（素案）について

第2期 行政改革大綱の概要

■ 基本的考え方

質の高い県民サービスを効果的かつ効率的に提供するため、職員・組織・仕事の「質的向上」に着目した改革を加速化

■ 計画期間

令和元年度～令和4年度

■ 5つの取組分野と6つアクションプラン

取組分野	アクションプラン（個別計画）
① 働き方改革	「働き方改革取組方針」
② 組織・人事改革	「第2期 組織・人事改革戦略」 「第2期 県庁C H O計画」
③ 財政改革	「神奈川県公共施設等総合管理計画」
④ I C T利活用改革	「かながわI C T・データ利活用推進計画」
⑤ 情報発信改革	「神奈川県広報戦略」

点検報告書の構成

- 第2期 行政改革大綱とは
- 点検報告書の作成にあたって
- 大綱に位置づけた取組の着実な実施
- 各取組分野の点検
- 各アクションプランの点検
- 成果と課題
- 総括

■ 主な成果（取組分野別）

・ 取組分野 1 働き方改革

「業務改善が積極的に行われるようになった」と感じている
職員の割合 令和元年度22.6% → 令和4年度55.7%

行政手続のオンライン化 手続数：401手続（令和4年9月末）

R P A 導入件数：46件（令和4年9月末）

モバイルP Cの導入：累計導入台数 13,323台（導入完了）

・ 取組分野 2 組織・人事改革

柔軟な配置換えや年度途中での人事異動等により、新型コロナ
ウイルス感染症等の喫緊の課題に対応

■ 主な成果（取組分野別）

・ 取組分野3 財政改革

クラウドファンディング研究事業、かながわコロナ医療・福祉等
応援基金等でクラウドファンディングを実施

・ 取組分野4 ICT利活用改革

ビッグデータなど多様なデータを集約し活用するデータ統合
連携基盤を新型コロナウイルス感染予測シミュレータ等に導入

・ 取組分野5 情報発信改革

新型コロナウイルス感染症対策等の情報について、メディア
ミックスにより、県民等への正確かつ速やかな情報発信

■ 主な課題

- ・ 時間外勤務は依然として高い水準で推移しているため、長時間労働の是正に向けた基本取組の徹底や更なる業務改善が必要
- ・ 意識調査において、テレワークを週1回以上実施している職員は、目標70%以上に対して、19.4%であり、阻害要因の解消等に取り組んでいくことが必要

■ 中長期的な課題

人口減少、超高齢化の進展

【課題】

- ・ 県税など歳入の減少の可能性
- ・ 社会保障費や公共施設の維持更新費など歳出の増大
- ・ 人材の確保・育成

人口減少社会における行政システムのあり方の検討が必要

■ 新たな要素

• Withコロナを見据えた対応

Withコロナを見据えた柔軟な働き方や機動的な情報発信の強化などについて検討する必要

• DXの推進

柔軟な働き方の推進や更なる業務の効率化等に取り組むため、行政内部のDXを推進していく必要

■ まとめ

- ・ 職員の「業務改善の推進」に関する意識の向上や I C T を活用した庁内業務の効率化など一定の成果
- ・ 一方、新型コロナ対策業務等の発生により、職員の時間外勤務が増加し、全体の業務時間・量の削減に至っていないため、更なる業務改善の推進が必要
- ・ また、Withコロナを見据えた対応、D X の推進など新たな課題に取り組むとともに、中長期的な課題を踏まえた県行政のあり方の検討が必要

■ 令和4年12月

- ・ 第3回県議会定例会に報告
- ・ 県民意見募集（パブリックコメント）の実施

■ 令和5年2月

- ・ 案作成
- ・ 第1回県議会定例会に報告

■ 令和5年3月

- ・ 「第2期行政改革大綱 点検報告書」公表